

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】令和6年2月6日(2024.2.6)

【国際公開番号】WO2022/230543  
 【出願番号】特願2023-517186(P2023-517186)

【国際特許分類】

A 2 1 C 3 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

A 2 1 C 3 / 0 2 D

10

A 2 1 C 3 / 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月31日(2023.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

20

【請求項1】

生地延展装置の延展ローラの表面を清掃する清掃装置であって、  
 生地延展装置に取付けられる清掃装置本体と、  
 前記清掃装置本体に取付けられるシート状の清掃部材と、を含み、  
 前記清掃部材は、端部と、清掃面を有する清掃部を含み、  
 前記清掃部材は、その一方の端部又は両方の端部が前記清掃装置本体に固定され、前記  
 清掃部が垂下し、前記清掃部の清掃面が生地延展装置の延展ローラの表面に面接触すると  
 きに延展ローラの表面に一致するように撓んで変形するように構成される、清掃装置。

【請求項2】

更に、前記清掃面を延展ローラの表面に押付けるために、前記清掃部材を前記清掃面の  
 反対側から付勢する付勢部材を含む、請求項1に記載の清掃装置。

30

【請求項3】

前記清掃部材は、前記清掃装置本体に脱着可能に固定される、請求項1に記載の清掃装  
 置。

【請求項4】

前記清掃面は、凹凸形状を有する、請求項1に記載の清掃装置。

【請求項5】

生地延展装置の延展ローラは、周回軌道を周回し、又は、所定の軌道を往復動するよう  
 に構成され、前記清掃面は、前記周回軌道又は前記所定の軌道の一部である清掃領域にお  
 いて延展ローラの表面に面接触する、請求項1に記載の清掃装置。

40

【請求項6】

更に、前記清掃領域において延展ローラを自転させる延展ローラ回転装置を含む請求項  
 5に記載の清掃装置。

【請求項7】

生地延展装置の前記延展ローラは、偏心ローラ又は多角形ローラである、請求項1に記  
 載の清掃装置。